18年産米の味はいかがでしたか? 消費者の声





「遊佐産18年度産米」について

我が家の朝は、ご飯を炊くいいにおいで始まります。家族もいいにおいに誘われ るように目をさまします。もう何年も遊 You米を頂いていますが、今年の味も上々 です。ふっくらつやつやした一粒一粒をかみしめると、美味しくて、生きてる喜び をつくづく感じます。

家族は、みんなお弁当を持って出かけて行きますが、冷めてもご飯の味が変わら ず、美味しいと言っています。特に、おむすびの味は格別ということです。

遊You米低農薬米、無農薬実験米どちらも、鳥海山のそびえる遊佐の美しい風景を、清らかな水の 流れを、そして、作って下さる皆さんのお顔を思い浮かべながら、頂く事ができ、これもまた格別です。

2008年度産は、減農薬の作付をもっと増やして下さるとのこと。私たちは、食べる組合員を増やし 生産者の皆さんに、応えて行かなくては、と思っています。何より、日本の米文化を、守っていきたい です。

湘南生活クラブ 戸田美智子



今年のお米を食べた感想

米年間予約運動が始まった1994年から、我が家では、毎年遊 You米を予約し、 食べ続けています。2003年からは、無農薬実験米も食べるようになりました。

少人数家族のため、1回に炊くお米の量は1合~1.5合。デポーの試食を作るの に必要なため、使うお釜は5合炊き。炊き上がったとき、ご飯はお釜の底に薄く張 り付いているような状態です。そんな悪条件にもかかわらず、「家で食べるご飯は、 とても美味しい。おかずなしでも食べられる。」と、家族は言ってくれます。

昨年は、熱帯夜も少なく、潮風害もなく、しかも、適度な日照があり、米作りのための好条件が整っ ていたためか、例年になく、とってもおいしい。

減農薬栽培に取り組む生産者も、年々増えました。2007年産からは、無農薬栽培米の他は、すべて 減農薬・8成分米となり、市場の特別栽培米よりも農薬の使用が少なく、遊You米に対する期待がさ らに高まります。

横浜みなみ 時枝 博子



遊佐の共同開発米部会のみなさま

いつもおいしいお米を作っていただき、ありがとうございます。我が家は今3人 家族で、登録の無農薬実験米が毎月3週に来るのと、あとOCRで適当に1週や2 週に遊YOU米をたのんでいます。月平均10~15キロくらいの消費ですね。外に出 ている息子が時々やってきては米袋を抱えて行きます。炊き込み御飯もたまには作 りますが、なによりも炊きたての白いご飯が好き。帰りが遅くなった日など、ご飯 さえあれば生活クラブの「さんま蒲焼」缶詰(これ、かなりの人気者)や「あさり

味噌」でじゅうぶん満足です。遊YOU米を食べるたびに、鳥海山のふもとに広がる豊かな田んぼやき れいな水が思い浮かびます。

このところ毎年異常気象が続き「ふつうの年」がなくなってきているような気がしますが、それでも イネの持つ本来の力と生産者のみなさんの様々な努力のおかげで私たちはふつうにお米が食べられてい るんだと感謝しています。大事に食べ続けたいです。

北東京・ちゃこ